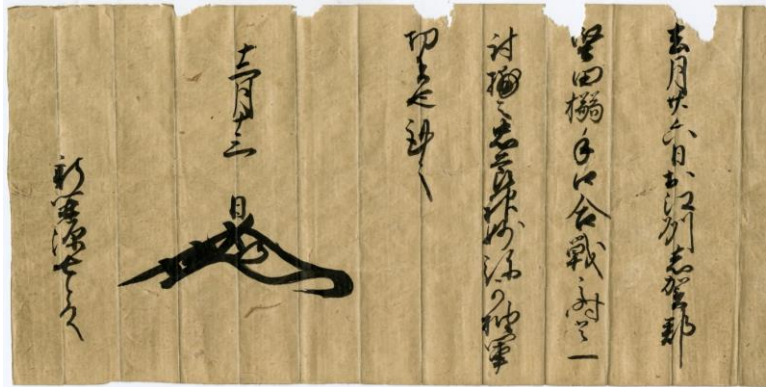


■資料紹介—「朝倉義景感状」—■

去月廿六日於江州志賀郡
 (現大津市)
 堅田搦手口合戦之時、首一
 討捕之、忠節神妙、弥可抽軍
 功者也、謹言、
 (元龜元年)
 十二月十三日
 (朝倉義景)
 (花押)
 新開源七殿



▲片岡五郎兵衛家文書(当館寄託、12cm×26.5cm)

A0027-00008

朝倉氏は、1570(元龜元)年6月28日の「姉川の合戦」で織田信長に打撃を与えられましたが、信長はその後摂津に転戦します。この戦況の変化を受けて朝倉勢は琵琶湖西岸を南下し、「志賀の陣」で、同年12月17日まで織田勢に反撃します。

上の写真は、朝倉義景が志賀の陣(堅田の戦い)で戦功を挙げた旧臣新開氏に送った「感状」です。感状は、合戦での活躍と大名からのねぎらいの言葉や花押(署名の代わりに使用される記号)が書かれている書状で、武勇や名誉を示すものとして大切に残されてきた資料です。



▲朝倉氏遺跡唐門

昭和49年 67091

■郷土新聞優秀作品展示■

期間：12月18日(金)
 ～1月20日(水)
 会場：文書館閲覧室

中学生が今年の夏休みに、郷土の地理や歴史をテーマに調査してまとめた郷土新聞の優秀作品を展示します。



■ちょっと昔の12月風景■



▲体力テスト

昭和40年 62408



▲東郷小学校ランチルーム

昭和44年 64288

文書館の研修室(定員40名)を会議や打ち合わせなどに利用できます。詳細は県立図書館まで。(TEL 0776) 33-8860)

■ご利用案内■
 開館時間 午前9時から午後5時まで
 ■フレンドリーバスをご利用ください■



■12月の開館日カレンダー■

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

は休館日です

■今月の展示■

戦中の子どもたちは、戦時色が濃いものに囲まれ、限られた“希望”しかもてませんでした。一方、戦後の子どもたちは、文化的なものに囲まれ、多様な“希望”をもつことが可能になりました。

今回の展示では、戦中・戦後に少年たちがつづった日記や文集、身の周りの教科書や遊び道具・写真などを通して、それぞれの時代の少年たちが将来にどのような“希望”をもっていたかを考えます。

余の時代と同様、価値観が大きく変わる激動の世だったのじゃない。



つづられた “希望”

—少年たちの戦中・戦後—



「小学生日記」1941(昭和16)年、「明新」聖戦完遂決意号 1943(昭和18)年 坪田仁兵衛家文書(当館寄託)C0005-01394、02343ほか

「Diary note」1951(昭和26)年 野尻喜平治家文書(当館蔵)10076-01173、「希望」創刊号 1946(昭和21)年 坪田仁兵衛家文書(当館寄託)C0005-02250、「郷土のほり」1949(昭和24)年 福井県立歴史博物館蔵ほか

福井県文書館月替展示

書きたかったこと、書けなかったこと。

平成27年 10月23日[金] ~ 12月23日[水]

開館時間 9:00~17:00 入館無料 県文書館閲覧室

福井県文書館 FUKUI PREFECTURAL ARCHIVES

〒918-8113 福井市下馬町 51-11 TEL 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891 <http://www.library-archives.pref.fukui.jp> bunshokan@pref.fukui.lg.jp